

保護者・学生のためのより詳しい説明

実際の入試問題を使って、この講座の効果をご説明します

7/10

論述ブースト No.7

AIと医療を論じる —— 技術・倫理・社会の3軸で答案を組み立てる

★ 清光学院の講師は、大学教員としてこれまでに皆さんのお子さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何十年も採点し合否判定を行ってきた当事者です。AI医療の小論文で「AIは便利です」という感想論述で終わる答案と、技術・倫理・社会の3軸で構造的に論証した答案の評価の差を、審査側として繰り返し経験してきました。

1. この講座が有効な入試問題のタイプ

① AI医療・診断支援AIの小論文

東京大学・京都大学・慶應義塾大学医学部の推薦入試では、「AIが医療にどう貢献できるか、またどのような問題があるか」という小論文が出題される。技術・倫理・社会の3軸で論証できる受験生は、採点者（大学教員）に「多角的に考えられる」と評価される。

② AI導入の倫理的問題を問う論述

「AIの誤診に誰が責任を負うのか」という倫理的問いは、医学部推薦入試で増加傾向にある。責任・公平性・プライバシーという論点を使える受験生は、感想論述との差が歴然とする。

③ 面接・口頭試問での技術と社会の問い

「あなたはAIが医師の仕事を変えますか」という問いは、医学部面接で定番になっている。3軸の枠組みで即座に論じられる受験生は試験官（大学教員）に際立つ。

2. 具体的な大学・学部との対応

大学・学部	出題の傾向	本講座との対応
東京大学・慶應義塾大学 医学部	AI医療の小論文・倫理的論述	技術・倫理・社会の3軸が感想論述との差を生む
京都府立医科大学・奈良県立医科大学	技術革新と医療現場の論述	多角的な論証枠が採点者に構造ある答案を示す
昭和大学・東邦大学 医学部	医療とテクノロジーの小論文	3軸の枠組みが論述の説得力を高める
医学部推薦・総合型選抜（全般）	「AIと医師の関係」型の口頭試問	3軸で即答できる受験生として採点者に際立つ

3. なぜ差がつくのか・受講後に期待できる変化

AI医療の小論文を「技術的に便利・倫理的に問題」という一面的な論述で書く受験生は、採点者が求める「多角的思考力」を示せない。授業の詳細な内容はここでは述べないが、受講後には（1）技術・倫理・社会の3軸で構造的に論証できる、（2）AI医療の倫理的問題を具体的に論じられる、（3）面接で多角的かつ即座に答えられる、という変化が起きる。

何十年も医学部の小論文・面接を審査してきた清光学院の講師陣は、AI医療論述で「感想答案」と「3軸で構造的に論証した答案」の評価の差を採点者として知っている。